

**各構成機関の平成 29 年度の取組状況及び**  
**平成 30 年度の取組等について**

### 【広島市自主防災連合会】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 　　る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まちあるきや防災マップの作成等を通じて、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災マップを 303 地区で作成</li> </ul> </li> </ul>	継続して取り組む
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害時における地域の連絡網に、固定電話に携帯電話を加えた情報伝達連絡網を作成</li> <li>○ 広島市防災情報メールの登録奨励などを通じた、災害時に必要な情報の伝達・共有</li> </ul>	継続して取り組む
行動する ・ 学 　　ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まちあるきや防災マップの作成等による災害危険箇所等の確認（避難経路上の危険箇所や迂回路の有無などを含む。）</li> <li>○ 自主防災組織等による防災訓練や防災研修会の開催</li> <li>○ 地域の各種団体と連携した防災訓練、地域の特性を踏まえた防災訓練を実施</li> <li>○ 子供も楽しめる防災訓練・フェアを実施</li> </ul>	継続して取り組む  継続して取り組む  各団体が市民向けに実施している防災関連事業について、小学校区の防災訓練・防災フェアの中で連携して紹介するなど、新しい内容を取り入れていきたい。
備 　　える	避難場所までの避難が困難な場合などに備えて、一時緊急退避施設（商業施設、駐車場、マンション、社宅等）を確保	継続して取り組む

#### <課題等>

- 地域の災害環境により住民の防災意識に温度差があるため、防災マップの作成に意欲的ではない地域への働きかけについて課題が残る。
- 防災訓練について、内容のマンネリ化、参加者がいつも一緒などの課題が残る。

### 【広島県消防協会】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 　　る	地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認	継続して取り組む
察知する	県、市町等が発表する防災・避難情報の伝達手段及び住民の自主避難体制の構築	
行動する	避難行動要援護者の把握及び避難訓練の実施	

学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域で日常的に行われている行事にあわせた訓練の実施（例：とんどでの消火訓練，炊き出しなど）</li> <li>○ ホームページを活用し，市町で独自に取り組んでいる活動の紹介</li> </ul>	） 継続して取り組む
備 える	消防団が所有する機械器具を活用した避難支援体制の構築	） 継続して取り組む

<課題等>

○ 個人情報保護の観点から要援護者の情報が入りにくい。
-----------------------------

**【広島県女性防火クラブ連絡協議会】**

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主防災組織等と連携し，防災マップの作成及び災害危険箇所を確認</li> <li>○ 地域，行政等と連携し，地域住民に対して災害危険箇所などの確認を働きかけ</li> </ul>	） 継続して取り組む
察知する	災害発生の危険性を察知した際には，近隣への声かけによる避難誘導をきめ細かく実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラブ員が避難誘導等に積極的にかかわれるよう，指導的立場の者にある者は技術を身につけるための講習を受講（H30.2.5「指導者研修会」）</li> </ul>	） 継続して取り組む
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域住民とのつながりを深めるため地域で開催される防災訓練等への積極的な参加</li> <li>○ 日頃から，日常会話の中で，防災に関心を持ってもらえるよう取組を実施</li> <li>○ 他県との交流を行い，防災設備の見学等を実施</li> </ul>	） 継続して取り組む
学 ぶ	自主防災組織，消防団等と連携し，防災訓練等に積極的に参加	） 継続して取り組む
備 える	非常持出品（非常持出袋）の備えを促進	）

## 【広島県社会福祉協議会】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 る	○ 市町社協等が実施する災害ボランティア講座等を通じて、防災・減災につながる住民同士の支え合い活動（例；地域における見守り活動など）を啓発・推進	継続して取り組む 対象：県内ボランティア等
行動する	○ H29.11.1 の「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」と併せて、全職員を対象にメーリングリストを活用した安否確認テストを実施  ○ H30.3.1 本会全職員を対象にした、災害時の局内対応シミュレーション研修を実施し、災害時の市町現地支援に係る各課の動き等について確認・点検を行った。	継続して取り組む（職員対象）  継続して取り組む（職員対象）
学 ぶ	○ 市町社協等と協働したセミナーや研修を通じて、災害ボランティア活動に係る人材養成や、防災・減災に関する意識啓発を推進  ○ 広島県内における被災者生活サポートボランティアネットワークの強化 ・ 広島県被災者生活サポートボラネット推進会議の定期開催などを通じ、災害時における生活支援体制（ネットワーク）の強化を図った。	継続して取り組む
備 える	○ 市町社協による地域における平常時からの支え合いの仕組づくりの支援を進めるとともに市町域における被災者生活サポートボランティアネットワークの拡充を図った。  ○ 県域に災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードを整備し、県内災害時の支援体制を強化。また、県外で発生した災害時に資機材（スコップ、一輪車等）の貸出し支援を行った。（福岡県東峰村、大分県中津市へ支援）	○ 市町社協による地域における平常時からの支え合いの仕組づくりへの支援や、市町域における被災者生活サポートボランティアネットワークの拡充に向けて引き続き取り組む。  ○ 災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持管理 ⇒ 県域の資機材ストックヤードを運営し、県内外の災害時における被災地支援活動の際に活用するとともに、平常時における関係訓練等で活用する。

### <課題等>

- 市町により、災害ボランティア講座等の機会が限られている。
- 職員の円滑な安否確認を行うためには、定期的なシミュレーションと実際に動くことを想定したマニュアルの定期的な見直しが必要である。
- 関係機関・団体と連携しながら、県民・関係者が災害ボランティアについて学べる機会を増やし、防災・減災の取組み実践と意識向上を更に県域に普及させていく必要がある。
- 市町域における被災者生活サポートボランティアネットワークの継続的な拡充が必要である。
- また、災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持・管理と定期的な資機材の更新が必要である。

【広島大学】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成 29 年度新生に防災に関するチラシ及び教材 3 種類（総ぐるみ運動、地震・津波、風水害・土砂災害編）を配布</li> <li>○ 学内で作成する「安全衛生マニュアル」及び学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報（広島県防災 Web、ハザードマップ、県民総ぐるみ運動ポータルサイト）の URL を記載</li> <li>○ 学内電子掲示板に外国人教職員のために、広島県が作成している 6 か国語の防災啓発冊子が掲載できる URL を掲示</li> <li>○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に一齐防災教室の教材を配布。また、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介</li> <li>○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について、学内電子示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p> <p>継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国人新生のために、広島県が作成している防災啓発冊子（英語版）を配布する。</li> </ul> <p>継続して取り組む</p>
察知する	<p>学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール（県・市）の登録を促進</p>	<p>継続して取り組む</p>
行動する	<p>災害等発生時の対応について、迅速に情報を集約できるようマニュアルの見直しを行い、学内に周知徹底した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、現状に沿った見直しを行い、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本部棟で防災訓練を実施し、地震が起きた際の防災体制の確認、自衛消防隊の動きについてのシミュレーションを実施</li> <li>○ 東広島市総合防災訓練に参加し、防災意識の高揚を図った。</li> <li>○ 学内電子掲示板に非常持出品の取扱方法や防災情報等を掲載</li> <li>○ 学生・職員への安全衛生教育で、地震対策・防災情報等について周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学内での防災訓練を継続して実施し、地震が起きた際の防災体制の確認、自衛消防隊の動きについてシミュレーションを行うとともに、非常用物品の取り扱いなどの周知を図る。</li> </ul> <p>継続して取り組む</p>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定期的に衛生管理者及び産業医の巡視を行い、学校施設内設備の転倒防止対策・避難経路の確保等の確認・改善を実施</li> <li>○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を行った。</li> <li>○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所については是正した。</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>

### 【広島県私立中学高等学校協会】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 　　る	当協会の主催する会議や行事等の機会において、会員に対して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認等に係る取組を促進	継続して取り組む
備 　　える		私立学校相互の災害時における助け合いのネットワークについて検討を行う。

<課題等>

- 各学校の置かれた環境によって、温度差が生じている。

### 【広島県 P T A 連合会】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 　　る	会員に対し、P T A としての取組事例・活動事例のアンケートを実施したものの、有効な手立てにはならなかったため、今後の取組について、検討することとした。	○ 会員情報紙の発行などの機会を捉え、会員に減災への取組を周知
察知する		○ 県や市町が取り組んでいる「防災情報メール通知サービス」の周知などを行い、災害の危険性をいち早く察知するために必要な手立てについて情報提供する。
行動する		○ 学校等で実施される「防災」の取組と連携し、「一斉防災教室」の教材等を家庭教育の中でも活用し、子どもの安全を守る取組を行うよう啓発する。
学 　　ぶ		○ 地域の防災訓練などに参加し、防災について学び、災害への備えができるよう呼びかける。
備 　　える		○ 防災関連の情報が提供された場合には、随時各郡市 P T A に伝達する。 ○ また、役員会等の機会を捉え、各単位 P T A などの取組を共有する。

**【広島県商工会議所連合会】**

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 る	○ 会議の際に、防災に関する講演を組み込み、会員への防災への取組を促した。主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。	今後とも、主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。

**【広島県商工会連合会】**

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 る	会員（34 商工会）に対し、「危機管理マニュアル」の策定を促した。	○ 引き続き、マニュアルの策定を促す。 ○ 会員（34 商工会）に対し、現有する「危機管理マニュアル」の再点検を促し、有事の際の初期動作についての確認を促す
察知する	○ 商工会員（22,500 会員）に対して会員等に対して、広島安佐商工会青年部（8.20 土砂災害の被災体験）を中心に、災害についての意識を啓発する目的で、情報発信を継続し、消防団にも所属する県内の青年部員を核にネットワークを形成 ○ 広島県商工会青年部連合会において、自然災害等発生時の対応内容等をまとめた、災害支援ガイドラインを施行	
学 ぶ		○ 県からの依頼があれば、商工会主催の祭り等でブース等を提供する方向で検討
備 える	○ 危機管理マニュアル未策定商工会に対し策定を促進 ○ 災害時等における緊急連絡体制の構築 ・ 県連合会と県内全商工会間の、休日・夜間における情報収集及び緊急連絡網を作成し、管理職へ配布 ○ 広島県商工会青年部連合会にて、災害支援ガイドラインを構築し、青年部員における有事の支援体制構築を図った。	継続して取り組む ○ 連絡網を作成し管理職へ配布

**【広島県農業協同組合中央会】**

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会員組合（13JA と連合会）に対して、会議や研修会等の機会を利用して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを周知               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JA 総務担当部長会議（H30. 3. 15）にて、あらためて「みんなで減災」県民総ぐるみ運動について周知</li> </ul> </li> <li>○ JA ビル入居団体会議（H29. 12. 14 ビル管理事務所主催で開催）における、避難場所、避難経路の確認と防災訓練の実施</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ H30. 5. 24「JA 女性部会」研修会にて、県の実施する「女性のための防災プログラムトレーナー養成」事業の説明会を開催</li> </ul>
学 ぶ	<p>本会職員対象に研修会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 研修：中央会職員研修「AED 使用方法」</li> <li>(2) 月日：平成 30 年 1 月 11～12 日</li> <li>(3) 講師：ALSOK</li> </ul>	<p>職員研修を通じた、職員に対する防災の意識づけについて、継続して取り組む</p>
備 える	<p>H30. 1 に JA ビル 8 階の本会事務所に AED を設置</p>	

**【広島県宅地建物取引業協会】**

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知</li> <li>○ 協会が実施する研修会・講習会等において、会員へ「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の周知し、協力を依頼               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宅地建物取引士を対象とした法定講習会（年 14 回開催）において、県の担当職員から、「自然災害と防災に関する説明義務」と題して、物件取引時の説明内容等について、周知を行うとともに、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」パンフレットの配布を行った。</li> </ul> </li> <li>○ 当協会ホームページに「防災 WEB」のバナーを掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む</li> <li>○ 継続して取り組む           <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 5px;">             当協会会員ならびにその従業員については、何らかの形でこの取り組みを理解いただいていると思うが、主催行事等あらゆる機会を捉えて継続実施する。           </div> </li> </ul>



備える	○当協会が県内市町と締結した次の協定に基づき、転入の機会を捉えて転入者に自治会等へ入会するよう働きかけることなどにより、会員を通じた、減災につながる地域の結びつきの強化に取り組んだ。		継続して取り組む
	市 町	協定の名称	
	広島市	町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定(H28.5締結)	
	府中町	町内会等地域活動の促進、防災・減災等に関する包括連携協定(H30.1締結)	

### 【全日本不動産協会広島県本部】

行動目標	H29年度 of 取組状況等	平成30年度 of 取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会報誌に、不動産取引等の際にハザードマップ等による災害危険箇所の周知活動などの啓発記事を掲載し、全会員へ向けて取組を促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2018年3月号の会報誌に、チェックリストを同封し、全会員に送付</li> </ul> </li> <li>○ 県担当者を講師に招いての、会員に対する、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取組の周知</li> <li>○ 協会ホームページのトップページに、防災に関する行政機関のホームページのバナーを掲載</li> </ul>	継続して取り組む

#### <課題等>

- 会員に周知できているのか確認ができない。
- 行政からの周知依頼が他にもあり、なかなか会報誌に記事を掲載したり、運動を研修会に組み込んだりすることができない。

【株式会社NTTドコモ中国支社】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等												
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業所周辺の避難場所・避難経路を確認               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国管内全拠点での避難訓練を実施</li> </ul> </li> <li>○ 台風・大雨・大雪等の災害対応時に避難所開設情報や市町村の災害対策本部設置状況をコンズビューワにより情報収集実施</li> </ul>	} 継続して取り組む  ○ 防災機関との防災機関との連携強化による情報収集（道路啓開情報, 災害対策拠点病院等）												
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 緊急速報メールの認知度向上, 利用促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各自治体主催の防災訓練へ参加し, 来場された一般のお客様等に防災ハンドブックやトミカ移動基地局車両の配布等により緊急速報メールの認知度向上を図るとともに, ドコモ災害対策についてアピールを実施（中国管内 14 カ所の防災訓練に参加）</li> </ul> </li> </ul>	} 継続して取り組む  ○ 自治体へ河川水位監視システムのご紹介の実施												
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台風や大雪等の災害が予測される場合に迅速な対応ができるよう, 社内各組織の災害対策リーダーに対する事前準備依頼と情報の展開 ⇒ 事前準備依頼と情報展開を 10 回実施（広島市大雨, 鳥根県大雨特別警報, 大雪:3 回, 台風 3, 5, 18, 21, 22 号）</li> <li>○ ドコモの災害対策への取組を理解していただき, 連携強化を図ることを目的とした社外（防災関係機関, 報道等）説明会の実施               <table border="1" data-bbox="325 1111 927 1211" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>開催地</th> <th>開催月</th> <th>社外参加者</th> <th>報道関係</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山口県</td> <td>8 月</td> <td>54 名</td> <td>6 社</td> </tr> <tr> <td>鳥取県</td> <td>10 月</td> <td>45 名</td> <td>3 社</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>	開催地	開催月	社外参加者	報道関係	山口県	8 月	54 名	6 社	鳥取県	10 月	45 名	3 社	} 継続して取り組む
開催地	開催月	社外参加者	報道関係											
山口県	8 月	54 名	6 社											
鳥取県	10 月	45 名	3 社											
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害時における携帯電話の有効な活用方法の理解浸透を図るため, ドコモ防災ハンドブック配布               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国管内全ドコモショップや各自治体の防災訓練, ケータイ安全教室などを通して住民の皆様へ約 4 万部の防災ハンドブックを配布</li> </ul> </li> <li>○ 従業員を対象としたシェイクアウト訓練による「緊急速報メール」を受信した場合の行動確認と「社員安否確認」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全従業員を対象にシェイクアウト訓練を実施（9/1）</li> </ul> </li> <li>○ 全従業員対象の, 災害対策に関する Web 研修の実施</li> <li>○ 各組織の災害対応メンバーに対し防災士資格の取得を推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 51 名が防災士資格を取得</li> </ul> </li> </ul>	} 継続して取り組む												
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 迅速な出動・設営が可能な小型衛星移動基地局車 1 台, 都市部での救済を想定し静音型移動電源車 5 台を増配備</li> <li>○ 災害対策について自治体と連携強化を図るため, 有事の際に提供できる優先電話貸出等や, 自治体をお願いしたいことについて, 自治体向けパンフレットで説明</li> </ul>	} 継続して取り組む												

<課題等>

- 避難所開設情報を正確に収集し, タイミングを逃さず避難所支援の要否を判断, 行動したいため, 今後よりもよりタイムリーな情報提供をお願いしたい。
- ドコモ防災ハンドブック配備施設の拡大

【KDDI 株式会社中国総支社】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社員向けHPに、社員が住む地区の避難場所・避難経路が確認できるよう、「広島県防災WEB」にリンクを張っていることを、転入者に対して、朝礼やメールで周知徹底</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全社規模で、毎月初日の安否確認メールにより、非常時における社員との連絡体制に漏れがないか確認を実施</li> <li>○ 上記とは別に、地区主導で、社員状況を確認する安否確認メールの実施</li> <li>○ 社員向けHPに、各自治体等の防災ページへのリンクを貼り、県市町防災情報メール登録を推奨               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上期に1回、下期に1回実施</li> </ul> </li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幹部社員を対象に台風による災害を想定した行動確認訓練を実施。併せて、通常では、あまり使用しない衛星携帯電話の操作方法を再確認</li> <li>※ 本社主導の防災訓練は、TV会議システムで全国の主要拠点を接続して、訓練の様態を視聴。発災後にすべき事と問題点を学習</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自治体様との総合防災訓練に参加。弊社の防災への取り組みや被災地での通信環境を整備するための機器や避難所支援装備の展示により、一般市民への防災意識向上に努める。</li> <li>○ シルバー層向けのスマホ教室での災害対策サービスの紹介</li> </ul>
学 ぶ	<p>全社施策として、一般に公開している災害対策サービスを社員向けに体験できる仕組みを作り、毎月、実施期間を決めて実施</p>	<p>継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ エラーニングによる災害対策マップの活用の仕方を学習</li> </ul>
備 える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県等が開催する防災啓発イベントへの参加</li> <li>○ 災害発生時、通信エリア確保を目的とする関係機関等と連携した訓練に参加               <ul style="list-style-type: none"> <li>[陸上自衛隊との連携]</li> <li>ヘリコプターやトラックへの積み込み訓練</li> <li>[海上保安庁との連携]</li> <li>巡視艇への積み込み訓練</li> </ul> </li> <li>○ 災害発生時の通信環境を維持するための装備充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所支援を目的としたWi-Fiボックス、充電ボックス等の装備を各県の支店にも増量配備し、即応体制を強化</li> </ul> </li> <li>○ 事務所を耐震構造に優れ、非常電源設備の充実した新しいビルに移転</li> <li>○ 災害掲示板（社内用）を充実させ、各本部の災害対応などの情報を一元化</li> <li>○ 災害マップ（社内用）を構築。被災地の地図上に、社員が入手した現地情報を入力できるようにすることで、よりリアルな独自のハザードマップ作成を可能のものとした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各県の総合防災訓練に参加</li> <li>○ 陸上自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、実践を意識した訓練を継続して実施</li> <li>○ 引き続き、災害発生時の通信環境を維持するための装備の充実を努め、災害対策備蓄品の点検及び入れ替えや被災地支援機器の点検、動作確認を行う。</li> <li>○ ビル管理会社と連携した避難訓練を実施</li> </ul>

【ソフトバンク株式会社】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認, および社員が保持する業務用携帯電話への保存, 事前確認の推進（全社通達）</li> <li>○ 各拠点の火災発生時フロー, 急病人発生時フロー, 避難経路図, 備蓄品情報を集約掲載した, 社内専用ポータルサイト（通称：全国防火・防災ポータルサイト）の開設</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 左記のポータルサイトの運営に継続して継続して取り組む</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 携帯電話販売店に「防災情報メール」説明用チラシを配置し, 携帯電話の更新・新規購入者への登録を促進</li> <li>○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に, 災害伝言板／音声お届けサービス, 緊急速報メールの説明を掲載し, 携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進</li> <li>○ 自社ホームページに災害伝言板／音声お届けサービス, 緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知</li> <li>○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して, 登録を促進</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認, および社員が保持する業務用携帯電話への保存, 事前確認の推進（全社通達）</li> <li>○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して, 登録を促進</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「安否確認訓練」を実施し, 安否登録方法を全社員が体験</li> <li>○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について, 全社員に対し e ラーニングの受講を促進（全社通達）</li> <li>○ ホームページ等において, 災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知</li> <li>○ 全国の自治体主催防災訓練において, 緊急速報メールの配信, 災害用伝言板サービス, 災害用音声お届けサービスの利用方法を周知</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>

	○ ホームページ等において、緊急速報メールが、どのような時（地震、避難勧告等）に発信され、発信される情報内容（どのような行動をとればよいのかなど）や、どのように届くか（情報の種類による着信音の違い等）などを周知	継続して取り組む
備える	○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保	継続して取り組む ○ 各事業者の防火・防災体制の把握

### 【広島県バス協会】

行動目標	H29年度の実施状況等	平成30年度の実施状況等
知る	○ バスの車内に災害危険箇所、避難場所、避難経路等の確認を促す啓発を実施 ・ ポータルサイト「はじめの一步」のポスターをバス車内に掲示	継続して取り組む
察知する	○ 防災情報メール、広島県防災Webなどで情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるように、会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかけ	継続して取り組む
行動する	○ 広島県防災Webなどの情報を会員に対し周知	継続して取り組む
学ぶ	○ 「ひろしまバスまつり(9/10開催)」での広島県へのブース提供 ○ 防災教室などがあれば積極的に参加するとともに、会員に対して参加の呼びかけを実施	引き続き「ひろしまバスまつり」において、広島県へブースを提供（H30.9.23実施予定）  継続して取り組む  ○ 他の機関に依頼し、防災に関する勉強会等を実施したい。
備える	○ 貸切バス事業者に対しても、広島県防災Webなどで運行経路にある避難場所を事前に確認するよう促した。  ○ 県からの依頼を受け、防災フェアの周知	継続して取り組む

#### <課題等>

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ バスの車内に災害危険箇所、避難場所、避難経路等の確認を促す啓発用ポスターを作って欲しい。（行政への要望）</li> <li>○ 会員の関心が低い</li> <li>○ 会員が情報を活用しているかまで把握出来ていない。</li> <li>○ 貸切バス事業者が運行経路にある避難場所を事前に確認しているか把握出来ていない。</li> </ul>
---

### 【広島県医師会】

行動目標	H29 年度 of 取組状況等	平成 30 年度 of 取組等
知 　　る	○ ハザードマップやポスター等の医療機関の待合室等への掲示について、広島県や市郡地区医師会と連携し、掲示が促進されるよう呼びかけを行った。	引き続き、ハザードマップやポスター等の医療機関の待合室等への掲示について、広島県や市郡地区医師会と連携し、掲示が促進されるよう方策の検討や取り組みを行う。
察知する	○ 「広島県医師会速報」において、定期的に会員向けの防災意識・手順・サービス等の啓発を行った。	継続して取り組む
行動する	○ 事務局職員向けの避難訓練を実施した。 (9/29)	継続して、事務局職員向けの避難訓練を定期的実施する。
学 　　ぶ	○ 梅雨入り前の時期に、事務局職員を対象として、土砂災害や風水害への備え、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを行う「一斉防災教室」を実施	継続して取り組む

### 【広島県歯科医師会】

行動目標	H29 年度 of 取組状況等	平成 30 年度 of 取組等
知 　　る	○ 歯科医療機関の待合室等にハザードマップ等を掲示し、受診した患者に災害危険箇所、避難場所等を周知 ・ 県内全ての歯科医院に対してハザードマップの配布が終了したことを地区歯科医師会に確認	新入会員に対しても、歯科医療機関の待合室等にハザードマップ等を掲示し、受診した患者に災害危険箇所、避難場所等を周知するよう働きかけを行う
察知する	○ 医療機関の待合室等に、テレビやモニターを設置、医療機関を受診した方に気象情報・避難情報を提供 ・ 待合室にテレビモニターはほぼ 100%に近い状況で設置が成されており、自然災害発生時にはこれにより周知は可能  ○ 災害情報を正確に会員の手許に届けるため、携帯電話への情報配信も行っており(スーパーメーリングシステム)、会員の 8 割以上に登録してもらうよう、引続きメルマガや広報誌を通じて通知	○ 災害情報を正確に会員の手許に届けるため、携帯電話への情報配信も行っており(スーパーメーリングシステム)、未登録会員にこのシステムへの登録をしてもらうよう、メルマガや広報誌を通じて通知するとともに、このシステムの有効活用をさらに検討する。
学 　　ぶ	○ 日本歯科医師会主催の災害コーディネーター研修会について、災害担当部署である「警察歯科医会」の役員・委員は全員受講 広島県で開催したことから、他の会員も多く受講した。  ○ 「警察歯科医会」では、県警・広大・第六管	

	<p>区等の関係機関にも参加いただき、災害時に備えての研修会を開催した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全会員に配布できる「災害時ハンドブック」の作成を事業計画に盛り込み、各部協力のもと、作成する</li> <li>○ 新入会員を対象とした、コンプライアンス推進室の個別面談や新入会員研修会等において、減災への取り組みの重要性を周知</li> </ul>
<p>備える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災グッズの整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所等における歯科領域の支援として、長期保存(5年間)が可能なデンタルリンスの購入を決定</li> </ul> </li> </ul>	<p>引き続き、必要な防災グッズあるいは備品等は、備蓄していきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成26年に中国地区5県で締結した「危機事象発生時の中国地域歯科医師会広域応援に関する基本協定」について、南海トラフ大地震を想定して、この協定範囲を広げ、「中国・四国地区9県」で協定を交わすこととしている。</li> </ul>

<課題等>

- ハザードマップの配布は完了したが、それを待合室の患者さんが確認しているのか否か、未確認である。
- 待合室のテレビモニターで災害発生の周知は可能だが、実際の災害時は周知に加えスタッフの誘導が必要となる。
- 広島県は土砂災害を経験し、自然災害の怖さを認識している割にはスーパーメーリングシステムへの登録が伸びないのは、周知の仕方に根本的な何かが足りないのかも知れない。
- 研修会や講義はしっかり参加しているものの、実際に災害が発生した際、冷静な対応ができるのかは疑問である。
- 歯科領域の支援は、避難所が出来た上での活動が中心となることから、今後、その係わり方について検討する必要がある。

**【日本放送協会広島放送局】**

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平時より、テレビ・ラジオの番組等において、防災・減災、気象に関する情報の提供</li> <li>・ 平成 30 年に入って、深夜零時過ぎに大雪への警戒を呼びかける特設ニュースを 4 度実施し、県北部などへの嚴重な警戒を呼びかけた。</li> <li>また、大雪による立ち往生を防ぐため、ニュースでタイヤ準備の重要性を伝えた</li> <li>○ 地震災害や豪雨、台風などの災害時にはテレビやラジオはもちろん、テレビのデータ放送やインターネットのホームページも活用して、きめ細かなライフライン情報を発信</li> <li>○ 今後の災害に備え、日頃から防災・減災の情報を提供</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 熱中症を予防するための高温注意情報をテレビ画面の常時スポンサーを使う等して発信</li> </ul>
察知する		
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島放送局のホームページに「くらしと安全」を常時開設し、防災・減災に役立つ知識や情報を提供</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スマートフォン向けの『NHKニュース防災アプリ』の普及に努め、視聴者、県民のみなさんの災害察知力に貢献する。</li> </ul>
備 える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豪雨災害の訓練を実施</li> <li>○ L 字放送の訓練を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 絶えず地震や土砂災害などへの訓練を行い、職員やスタッフの意識を高める。</li> </ul>

<課題等>

- 全局態勢を速やかに構築することが課題

**【株式会社中国放送】**

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放送番組を通じて防災・減災につながる情報を伝達</li> </ul>	継続して取り組む
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放送番組を通じて注意報・警報など気象情報を周知</li> </ul>	継続して取り組む
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放送番組を通じて避難行動につながる情報を伝達</li> </ul>	継続して取り組む
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放送番組を通じて防災・減災について考えるきっかけにつながる情報を提供</li> </ul>	継続して取り組む
備 える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テレビ・ラジオの放送番組を通じて防災・減災に向けた情報を伝達</li> </ul>	継続して取り組む

**【株式会社テレビ新広島】**

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県の防災の取組に関する情報や、防災に関する様々な情報を、日頃のニュースや「満点ママ」の月 1 防災企画などで提供</li> <li>・ 「満点ママ」の月一防災企画では、視聴者 200 人アンケートを実施し、大雨への備えについて、何が判らない？知りたいこと？避難時に必要モノは？などを実施</li> <li>視聴者の皆さんの疑問点に答える形で、大雨シーズンを前に 3 回シリーズで「災害への備え」「災害時の対応」について情報提供を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、県の防災取組に関する情報などを、日頃のニュースや「満点ママ」の月 1 防災企画などで提供する。</li> <li>（いつ、災害が身近なものとなるか判らないことを前提に、過去に取り上げたテーマも継続して取り上げていく。）</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ また、非常時に備えた「ローリングストックのための食材選び」「百島に見る協力を育てる地域でのコミュニケーションづくり」「大雪対策転倒しない歩き方」など取り上げた。</li> </ul>	
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 注意報・警報などの情報をテレビの字幕で周知</li> <li>○ 災害情報等をテレビの字幕放送（L字放送等）で周知</li> <li>○ 災害時には、本放送だけでなく、データ放送やホームページ等を活用し、きめ細やかな情報を迅速に提供</li> <li>○ 正確な情報を早くわかりやすく、テレビ、ホームページを通じ、繰り返し伝達</li> <li>○ テレビ番組で県防災 Web による土砂災害危険度情報の確認方法などを啓発</li> <li>○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自局ホームページなどによる情報提供</li> </ul> <p>大雨警報や避難準備情報等の発令時に、夜間時の速報スーパーに加え、早朝 5 時台から地上波「L字画面」と「ホームページ」で大雨に関する情報や台風に関する情報を提供した。</p>	<p>継続して取り組む</p> <p>大雨に伴う、土砂災害、河川の氾濫等、危険を察知できるように、適時情報を発信していきたい。放送、ホームページに加え、i ネットニュース、SNS 等への情報発信も取組んでいく。</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日頃から、より防災・減災を意識したテレビ番組内での情報露出の強化</li> <li>○ 災害に備え具体的にどう行動するのかを意識してもらうための啓発</li> </ul> <p>広島県での防災関連の取組みを含め、各行政機関や民間での防災取組みを随時放送、防災意識の緩みを防げるよう継続して放送した。</p>	<p>継続して取り組む</p>
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通常のニュースに加え、特集などで災害の原因に迫るとともに、土砂災害警戒区域の指定や被災者支援などを検証</li> <li>○ 報道を通じ、県民に防災・減災について考えてもらう素材を提供</li> <li>○ 自局のホームページで、防災・減災の知識や情報を提供</li> </ul> <p>8.20 関連した企画ニュースなど、改めて、被災地域の現状を紹介し、災害時の備えや災害時の行動についての最新情報を提供した。</p>	<p>継続して取り組む</p>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供</li> <li>○ 災害発生の危険性が高まる梅雨や台風シーズンは、テレビ番組で注意喚起</li> <li>○ 過去の災害発生日に合わせ、番組などで再度取り上げ注意喚起</li> </ul> <p>9/17 台風 18 号においては、午前 9 時から「L字画面」午前 9 時から台風への備えを繰り返しお知らせした。台風最接近は夕方以降の予報であったが、午後 2 時台に 1 時間の報道特別番組を編成し、台風への備えをお伝えした。</p>	<p>継続して取り組む</p>

【広島テレビ放送株式会社】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュースにおいて、土砂災害の特集を放送               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月2日にはドキュメンタリー番組「WATCH」にて土砂災害を放送。被災者遺族の現在及び防災士について伝えた。</li> </ul> </li> <li>○ 梅雨・台風シーズン及び大雪・寒波について番組内の天気コーナーやニュース内で注意喚起</li> <li>○ 津波の日、減災 HP などの紹介</li> <li>○ 「みんなで減災推進大使」の認知度の向上に取り組む               <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                 H29.4 から「みんなで減災推進大使」になった気象予報士塚原美緒さんを通して、認知度の向上及び防災HPなどの紹介を行った。               </div> </li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雨や台風、大雪などで警報及び避難勧告が出た場合、ニュースやL字放送で情報を伝達</li> <li>○ 警報等出た場合、「速報」で避難情報を伝達</li> <li>○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報などを掲載</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュースにて気象情報や避難情報を放送し、早めの避難行動を呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、ニュースや速報、L字を使って気象情報や避難情報を放送し早めの行動を呼びかける</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 8.20 広島土砂災害について放送               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニュース内で土砂災害の特集に加え、9月2日にはドキュメンタリー番組「WATCH」にて土砂災害を放送。被災者遺族の現在及び防災士について伝えた。</li> </ul> </li> <li>○ 「南海トラフ」への備えについての放送               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「南海トラフ地震」に関する新情報についてニュースで取り上げた。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き 8.20 土砂災害について放送するほか、6.29 豪雨災害などの県内で起きた災害について番組内で放送</li> </ul> <p>継続して取り組む</p>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュース番組や特別番組で防災、減災の情報を提供</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>

【株式会社広島ホームテレビ】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュース番組で広島県防災WEBの活用（土砂災害危険度情報のチェックの仕方など）を啓発する。</li> <li>○ ニュース番組で、「防災（豪雨災害、南海トラフ地震への備えなど）をテーマにした放送               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災・減災関連のレポート、特集を放送</li> <li>・ 平成 26 年の広島土砂災害関連ニュースを放送</li> </ul> </li> <li>○ 県内で豪雨、豪雪、震度 5 以上程度の地震が発生した場合は、関連情報を L 字放送で報道               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大雨警戒時に L 字放送を実施し、注意や避難を呼びかけた。</li> </ul> </li> <li>○ 大雨注意報や大雨洪水警報などの情報を字幕で告知する。</li> <li>○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載する。</li> </ul>	<p>引き続き、ニュース番組で県の防災・減災の情報を伝達、啓発する。</p> <p>継続して取り組む</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自社ホームページやSNS（ツイッター、フェイスブック）の自社アカウントから情報を発信する。</li> <li>○ 警報など随時ニュース速報で対応</li> <li>○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>
行動する	<p>ニュース番組で広島県防災WEBなどのチェックを促し、L 字放送などで早めの避難を呼びかける。</p>	<p>継続して取り組む</p>
学ぶ	<p>ニュース番組で、防災に関する必要な知識や情報を紹介</p>	<p>継続して取り組む</p>
備える	<p>災害に備える特集・ニュースを放送する。</p>	<p>継続して取り組む</p>

【株式会社中国新聞社】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 　　る	<p>○ 社員を対象に「安全を考える集い」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本社員や関連会社社員を対象に「安全を考える集い」を開催した。多くの社員が出席し、安全に対する心構えを学んだ。</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>
察知する	<p>○ 平成 27 年の広島市との防災情報の提供に関する協定締結以降、実施している、防災行政無線の内容を、ケーブルテレビ回線を通じて宅内に設置する専用の受信機で確認できるサービスの継続実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災情報を自宅で聞ける「防災受信機サービス※」に力を入れた。</li> <li>※ ケーブルテレビのちゅピCOMひろしま、ちゅピCOMふれあい（いずれも中区）の回線を通じて、市の防災行政無線を受信。地震や洪水、土砂災害、有事の際の警報、避難を促す情報などが流れる。</li> </ul> <p>○ 「ちゅーピーメルマガ」を、即時で、できるだけ分かり易い内容に随時改良を加えつつ、読者に対し、災害情報や地震発生情報などをメール発信し、即時に避難などの対応を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ちゅーピーメルマガ」をリニューアルそのコンテンツのひとつとして「安心安全メモ」のコーナーを設けた。</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p> <p>（ 「防災受信機サービス」の周知を図り、より多くの市民に大雨や地震の情報を素早く提供していきたい。）</p> <p>○ 「ちゅーピーメルマガ」を、随時改良を重ねながら、読者に対し、地震や大雨などの災害情報を発信し、素早い避難を促す</p>
学 　　ぶ	<p>○ 読者に減災の意識を高めてもらうために、年間を通じて、東日本大震災や広島土砂災害などの特集を組んだ。</p> <p>また、関連するニュースも取材を進めながら、発信</p>	<p>○ 引き続き、朝刊紙面を通じて、ニュースや連載、特集などで、災害時の心構えや過去の教訓について報道する。</p> <p>（ 朝刊の「くらし」面などでも、安全について、さまざまなテーマを取り上げている。さらなる充実を目指したい。）</p>
備 　　える	<p>○ 社内の主要拠点において行っている、災害時に必要な備蓄について、定期的に状況を管理しながらを随時積み増ししている。</p>	<p>継続して取り組む</p>

<課題等>

- 「安全を考える集い」は、過去には熊本地震を経験した地元紙の記者に講演を依頼するなどしてきた。外部からの講師をいかに選び、充実させるかが今後の課題になっている。

【広島エフエム放送株式会社】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 　　る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みんなで減災」推進大使（広島エフエム放送 磯貝氏）が各生放送番組に出演して周知（1 か月に 1 回程度出演）</li> <li>○ 「みんなで減災」推進大使として、各種イベントへ出演。ステージイベントやブースにおいて、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5/4 「ひろしまフラワーフェスティバル」</li> <li>・ 5/21 「福山ばら祭」</li> <li>・ 8/26 「防災ひろば 2017 in マツダ スタジアム」</li> <li>・ 9/10 「ひろしまバスまつり」</li> </ul> </li> <li>〔 なお、バスまつりでは、『避難マップ』を作成するワークショップを展開 〕</li> <li>○ 県が開催する一斉地震防災訓練（シェイクアウト）の周知、参加呼びかけ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11/1 訓練当日に朝の番組内で参加を呼び掛けた</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>） 継続して取り組む</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雨や台風接近時などには、気象情報・避難情報を特に詳しく番組を通じて周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6 月の梅雨時期の大雨、9 月の台風接近時、1 月 2 月の大雪の際には、特に詳しく実施した。</li> </ul> </li> <li>○ 避難情報が発表された際には、コンパクトに正しく伝える工夫を検討した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>） 継続して取り組む</li> <li>○ 番組内での「防災情報メール」登録の呼びかけ</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>県が開催する一斉防災訓練「シェイクアウト」に従業員が参加し、その後、机の下に身をを守るスペースの確保などを実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 津波を想定して、本社屋上への避難訓練を行った。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>） 継続して取り組む</li> </ul>
学 　　ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 有識者（「私だけの防災ハンドブック」の監修者）との情報交換を定期的実施</li> <li>○ 県内で行われている防災教室、防災訓練の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>） 継続して取り組む</li> </ul>
備 　　える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大使の番組出演時に県の「備えるフェア」の周知</li> <li>○ 梅雨や台風シーズンは、番組を通して、注意喚起</li> <li>○ 過去の災害発生日に合わせ、番組等で再度取り上げ、注意喚起 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9 月 1 日には防災の日 1 DAY として、朝から午後の番組まで、特集企画を実施した</li> <li>また、1 月 17 日にも昼の番組で紹介</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>） 継続して取り組む</li> </ul>

【広島地方気象台】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たな防災気象情報の周知（土砂災害・浸水害・洪水害の危険度分布）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H29.7 から提供を開始した危険度分布について、テレビ、新聞等の報道機関からの取材に対して解説を行い、周知と利用推進を図った。</li> <li>・ 市町に広報誌への掲載を依頼し、4 市町の広報誌に掲載された</li> </ul> </li> </ul>	<p>大雨及び洪水警報の危険度分布を、避難判断の参考として活用してもらうため、住民に対する周知広報を継続して行う。</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 報道機関に対して、災害発生の危険性について、わかりやすく情報を提供するとともに、適時的確に防災気象情報を発信し解説を行った。</li> <li>○ 大雨警報（浸水害）、洪水警報の改善にかかる周知広報を報道機関が参加する防災会議等で行った。</li> <li>○ 報道機関が参加する防災気象連絡会で、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行った。</li> <li>○ 避難行動の判断材料となる気象情報の意味と、とるべき行動、並びに情報の入手手段の周知等について、               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 呉市総合防災訓練及び広島県総合防災訓練、東広島市消防防災フェアに参加し、ブース展示を利用して防災気象情報の周知等を行った。</li> <li>・ 一般・学校等を対象とした出前講座で、周知啓発を実施するとともに、広島県の防災情報メール登録の呼びかけを行った。</li> </ul> </li> </ul>	<p>継続して取り組む  <span style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">住民が防災気象情報を受ける第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。</span></p> <p>継続して取り組む</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害発生時の訓練の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 徒歩参集訓練を実施し、ルートや危険箇所の確認を行った。また、緊急地震速報を利用したシェイクアウト訓練を行った。</li> </ul> </li> </ul>	<p>継続して取り組む</p> <p>住民への情報が的確に行われるよう、気象台長が市町長を訪問し「顔の見える関係」を構築し、連携強化を図る。</p>
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業・団体、防災関係機関が開催する研修、訓練、講演会等での、防災気象情報に関連する研修、後援等の依頼には可能な限り対応し、職員を派遣の上、防災気象情報普及啓発を図る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国・県の大規模氾濫減災協議会や消防学校の他、防災リーダーを対象とした研修会等で防災気象情報の普及啓発を行った。</li> </ul> </li> <li>○ 警報発表事例の振り返りや、気象・防災気象情報に関する勉強会を6市町で行った。</li> <li>○ 気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨 そのときどうする？」について、関係機関と連携して、実施の普及啓発を行う。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災リーダーを対象とした出前講座の他、気象予報士会と連携して、自治体防災担当者を対象とした気象庁ワークショップを行った。</li> </ul> </li> </ul>	<p>継続して取り組む</p> <p>引き続き関係機関と連携して、ワークショップを実施する。</p>
備 える		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 顕著現象発生時の対応状況について、気象台と市町で振り返りを行い対応改善を図る。</li> </ul>

【中国地方整備局】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ イベントにおいて、降雨体験機、3D土石流体験装置等を使用し、災害の疑似体験や、土砂災害について講話などを実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H29.05.13 防災イベント（伊予広島祇園）</li> <li>・ H29.05.30 県民の集い（呉市）</li> <li>・ H29.09.10 防災イベント（安佐動物公園）</li> <li>・ H29.10.01 広島県総合防災訓練（三次市）</li> <li>・ H29.11.26 呉市昭和自主防災連合会防災フェスタ ほか</li> </ul> </li> <li>○ 危機管理型水位計を設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、体験機を用いてイベントに参加               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 降雨体験機（豪雨を体験する装置）</li> <li>・ 3D土石流体験装置（立体のCG、アニメーションや震動によって土石流のメカニズム等を体験する装置）</li> <li>・ 土石流模型実験装置（水と小石を使って土石流を体験する装置）</li> <li>・ 土砂災害について講話</li> </ul> </li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">（ 継続して取り組む 設置の推進。設置した危機管理型水位計により越水危険箇所の水位情報を公開し住民の主体的な避難を促進 ）</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国地方整備局HP等において、以下の防災情報を提供               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「川の防災情報」をリニューアル（カメラ映像追加やスマートフォンへの対応など）</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〔全般〕 防災体制情報、TEC-FORCE 活動状況</p> <p>〔河川情報〕 全国川の防災情報（洪水予報、水防警報、ダム放流通知）、浸水想定区域図、水文水質データベース、NHK データ放送での配信</p> <p>〔道路〕 道路情報提供（交通規制、道路気象情報）、事前通行規制区間情報、冬季道路情報（道路ライブ画像、通行止め予定区間）</p> <p>〔港湾〕 ナウファス（全国港湾海洋波浪情報網）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 携帯電話事業者が提供する緊急速報メールサービスを活用した洪水情報のプッシュ型配信を実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国管理3水系（江の川、芦田川、小瀬川）で提供を開始</li> </ul> </li> </ul>	<p>継続して取り組む</p> <p style="margin-left: 20px;">（ 継続して取り組む 広島県内全域（太田川水系を追加）で提供（広島市内は、広島市の提供する防災情報メール通知サービスによる） ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「中国地方の防災に関する連絡会」における防災関連ポータルサイトの提供（関係 51 機関と情報共有）及び橋梁・堤防等の「リスクの見える化」に着手</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多機関連携型タイムラインの策定（太田川）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太田川水防災タイムライン検討会（行政・交通・ライフライン・マスメディア等 32 機関）を設置し、検討中（対象：洪水、内水、高潮、土砂災害）</li> </ul> </li> <li>○ 要配慮者利用施設の避難確保計画策定への支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要配慮者利用施設の避難確保計画策定に対し策定マニュアルを提供し支援を実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「中国地方の防災に関する連絡会」における情報共有・伝達訓練</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">継続して取り組む （平成 30 年度にタイムライン策定予定）</p> <p style="margin-left: 20px;">（ 継続して取り組む 要配慮者利用施設について「講習会の企画調整及び運営マニュアル」を提供し、避難対応の推進を支援 ）</p>

<p style="text-align: center;">学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災教室, 訓練, 防災イベント等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H29.05.13 防災イベント (伊予広島祇園)</li> <li>・ H29.05.30 県民の集い (呉市)</li> <li>・ H29.08.26 防災フェア in マツダ スタジアム</li> <li>・ H29.08.31 広島市総合防災訓練</li> <li>・ H29.09.10 防災イベント (安佐動物公園)</li> <li>・ H29.10.01 広島県総合防災訓練 (三次市)</li> <li>・ H29.11.26 呉市昭和自主防災連合会防災フェスタ ほか</li> </ul> </li> <li>○ 学校関係向けの出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H29.04.11 メルパルク広島</li> <li>・ H29.05.02 梅林小学校 5 年生</li> <li>・ H29.06.06 防災まちづくり実践講座 (広島経済大学)</li> <li>・ H29.06.28 地域防災リーダー養成講座 (福山大学)</li> <li>・ H29.10.04 行政の災害対策と支援制度 (福山大学)</li> <li>・ H30.02.22 H29 年度学校安全指導者講習会 ほか</li> </ul> </li> <li>○ 防災・河川環境教育の取組強化として, 教育現場と連携・協力し, 防災教育の支援及び河川環境学習の支援を実施 (整備局が持っている災害時のリアルな写真や映像・データなどを提供, 気象台・地理院とも連携した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校現場での地域の防災マップ作成支援</li> </ul> </li> <li>○ 広島県内の 4 小中学校をモデル校とし指導計画等の作成支援を開始</li> <li>○ ダムの効果 (治水・利水) について森と湖に親しむ旬間, 点検放流等のイベント時においてダムに関する広報を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント等での広報に加え, 一部ダムにおいては, 周辺にある道の駅等の施設に, ダムの効果 (治水・利水) を示す常設展示を行うことを検討。展示に向けて関係機関, 関連企業等への調整を実施。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き, 防災教室・訓練, イベント等開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 降雨体験機 (豪雨を体験する装置)</li> <li>・ 3D 土石流体験装置 (立体の CG, アニメーションや震動によって土石流のメカニズム等を体験する装置)</li> <li>・ 土石流模型実験装置 (水と小石を使って土石流を体験する装置)</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">} 継続して取り組む</p> <p style="text-align: center;">} 継続して取り組む (作成した指導計画等を県内の学校へ共有し, 防災教育を支援)</p> <p style="text-align: center;">} 継続して取り組む (森と湖に親しむ旬間, 点検放流等のイベント時において広報を実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各ダムにおいて近隣の道の駅等において, ダムの効果 (治水・利水) についてわかりやすい広報パネル等の常設展示を行う。</li> </ul>
--	---	--



【広島市】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各区役所において転入者に対して、ハザードマップ等により災害危険箇所、避難場所等を周知</li> <li>○ ハザードマップのホームページへの掲載</li> <li>○ 広報誌、ホームページ、広報番組等により災害危険箇所の確認方法を周知</li> <li>○ 指定緊急避難場所及び指定避難所について避難場所の種別、災害種別ごとの適応表示、海拔表示、多言語表示を記載した標識を設置</li> <li>○ 29.4.1 から「広島市防災ポータル」の運用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 転入者に配布する「広島市 市民くらしのガイド」内で災害危険箇所の確認方法を周知</li> </ul> <p style="text-align: center;">} 継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、HP「広島市防災ポータル」を運営し、活用促進のための周知を図る</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災情報メールの登録促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災教室、出前講座、防災訓練、広報誌、広報番組、ホームページ等を通じた防災情報メールの登録促進</li> <li>・ 災害時応援協定締結企業等への防災情報メールチラシの配置及び社員等への登録呼びかけ</li> </ul> </li> <li>○ 避難勧告等の避難情報の住民への伝達 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災行政無線、防災情報メール、ホームページ、SNS（ツイッター、フェイスブック）、テレビ（データ放送を含む。）、FAX（聴覚障害者用）、緊急速報メール、サイレン、広報車等を通じて、避難情報を伝達</li> </ul> </li> <li>○ 避難勧告等の避難情報の伝達及び入手方法の周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急速報メールの積極的な活用による避難情報の伝達</li> <li>・ 防災教室、出前講座、イベント等の機会を利用した避難情報の入手方法周知</li> </ul> </li> <li>○ 広島市防災ポータルにより避難情報（避難準備情報・高齢者等避難開始、避難勧告等）や避難場所等の開設情報、雨量・水位などの観測情報を提供</li> </ul>	<p style="text-align: center;">} 継続して取り組む</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まちあるきや防災マップ作成を支援するため、防災士等の防災専門家を派遣</li> <li>○ 自主防災組織による防災訓練や防災講演会の開催</li> <li>○ 地域特性を踏まえた防災訓練の指導・助言</li> </ul>	<p style="text-align: center;">} 継続して取り組む</p>

<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主防災組織，企業，学校等を対象とした防災講演会，防災研修，防災教室の開催</li> <li>○ 広島市総合防災センターにおける防災研修の実施</li> <li>○ まちあるきや防災マップの作成を支援するため，防災士等の防災の専門家を派遣</li> <li>○ 防災訓練等の実施予定をホームページに掲載し，市民へ周知</li> <li>○ 防災関係機関等の参加による総合防災訓練を実施</li> </ul>	<p>）</p> <p>継続して取り組む</p>
<p>備 える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出前講座，防災訓練，ホームページ等を通じて，懐中電灯，着替え，常備薬などの非常持出品の備え及び消費期限の確認の必要性を周知</li> <li>○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し，非常持出品等の備えの啓発</li> <li>○ 自主防災組織等への出前講座等の開催</li> <li>○ 防災士養成講座等を通じて防災リーダーを養成</li> <li>○ 推進会議委員のHPなどで公開している防災に関する普及啓発コンテンツのリンクを，広島市HP上で公開しているコンテンツ内に掲載する。</li> </ul>	<p>）</p> <p>継続して取り組む</p>

<課題等>

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災情報メールの登録促進について，新規登録者数が伸び悩んでいる</li> <li>○ 地域により防災意識に温度差がある</li> </ul>
---

【坂町】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全町民を対象とした大雨土砂災害避難訓練を 6 月に実施し、参加人数は 1,664 人</li> <li>○ 全町民を対象とした地震・津波災害避難訓練を 12 月に実施し、参加人数は 2,507 人</li> <li>○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」を転入者・来客等に配布し、啓発を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全町民を対象とした総合防災訓練を 9 月に実施予定</li> </ul> <p>継続して取り組む</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災行政無線により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知</li> <li>○ 登録者数の少ない地区の会長や役員の方に、避難訓練・町の行事等の機会に広報することで町の登録制メールに登録していただき、メールで災害情報や避難所等の開設情報を周知</li> <li>○ エリアメールによる災害情報の周知（NTT ドコモ, KDDI, ソフトバンク）</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全町民を対象とした大雨土砂災害・地震津波災害の避難訓練を実施</li> <li>○ 避難施設についても、いち早く開設する体制を整備</li> <li>○ 各地域の住民が、自ら判断して避難する体制を整えるため、町内の住民福祉協議会から、防災リーダーの候補者を選出していただき、「防災リーダー養成講座」を開催</li> <li>○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p> <p>継続して取り組む（H30.4～H31.2 予定）</p> <p>継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前に各種災害ごとの避難場所を知っていただき、自ら判断して避難できる体制についての整備に引き続き努める。</li> </ul>
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災リーダー養成講座を 6 回ワンセットで開催</li> <li>○ 自主防災会養成講座を年 2 回開講</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>
備 える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種災害時避難訓練実施説明会等において、非常時に各人がすぐに避難できる体制がとれるよう、非常持出品の準備を提唱</li> <li>○ 公共施設において非常持出品の準備を提唱。また、避難訓練の際などに啓発</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>

<課題等>

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難訓練参加者数の減少</li> <li>○ 訓練内容の改善</li> <li>○ 防災行政無線の音声が聞こえにくい地域や響きすぎて聞き取りにくい地域がある</li> <li>○ 登録制メールの登録数が少ない地域がある</li> <li>○ 防災リーダー候補者以外の方の講座への参加啓発</li> <li>○ 住民の方への自助・共助意識の普及</li> </ul>
---

【広島県教育委員会】

行動目標	H29 年度の取組状況等	平成 30 年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ハザードマップ等を活用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認。訓練実施後に避難場所・避難経路等の見直しを実施するよう指導               <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度第 1 回広島県市町教育長会議において、訓練の実施及び家庭との連絡方法の確認等を指導するよう依頼</li> <li>・平成 29 年度第 1 回県立学校長会議等において、指導の実施を依頼</li> <li>・平成 29 年度健康教育行政担当者連絡協議会において、市町の担当者を取組内容を説明し、所管の学校において実施するよう依頼</li> <li>・各学校における取組状況を基に、学校安全指導者講習会において、訓練実施後の避難場所等の見直しを適切に行うよう指導</li> </ul> </li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認               <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度健康教育行政担当者連絡協議会において、市町の担当者を取組内容を説明し、所管の学校において実施するよう依頼</li> </ul> </li> <li>○ 一斉防災訓練への参加や避難行動の確認               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校における取組状況を基に、学校安全指導者講習会において、工夫した避難訓練等の取組を実施するよう指導</li> </ul> </li> <li>○ 災害種別に対応した危機管理マニュアルの作成・見直し</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町内会、自主防災組織等、地域と連携した防災訓練の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度健康教育行政担当者連絡協議会において、市町の担当者を取組内容を説明し、所管の学校において実施するよう依頼</li> <li>・各学校における取組状況を基に、学校安全指導者講習会において、訓練実施後の避難場所等の見直しを適切に実施するよう指導</li> </ul> </li> <li>○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認〔再掲〕</li> <li>○ 学校における防災教育の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育推進のための教職員研修の実施</li> <li>・学校安全担当者を対象とした避難所運営を想定した HUG(ハグ)(避難所運営ゲーム)を使用した図上での避難所運営訓練の実施</li> <li>・「防災教育の手引」を活用した「防災に関する授業」の推進</li> <li>・共通の教材を活用しての、災害危険箇所、避難場所、避難経路等について、全学校及び家庭における確認</li> <li>・専門機関等(国交省、広島地方気象台等)と連携した防災教育等の推進</li> </ul> </li> </ul>	<p>継続して取り組む</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学校安全担当者を対象とした図上訓練としては、HUG(避難所運営ゲーム)やDIG(災害想像ゲーム)のほか、目黒メソッド(災害状況イメージーション支援システム)の活用や担架搬送体験などの実施を検討している。</p> </div> <p>継続して取り組む</p> <p>○ また、ホットライン教育ひろしま(広島県教育委員会ホームページ)内の公民館職員向けのページ「公民館等お役立ち情報」に「公民館等で防災・安全を考える」特集コーナーを設け、公民館等で防災等をテーマにした学習講座を企画する際に活用できる情報を提供する取組について、継続して行う。</p>

<課題等>

- 災害に対応できるよう正しい知識を身に付けさせるとともに、訓練実施後の避難場所等の見直しを適切に実施するよう、継続して講習会等において指導する必要がある。
- 主体的に行動できるよう、継続して工夫した避難訓練等の取組を促す必要がある。
- 訓練実施後の避難場所等の見直しを適切に実施するとともに、より効果的な防災教育が推進されるよう、継続して講習会等において指導する必要がある。

【広島県】

行動目標	H29 年度 of 取組状況等	平成 30 年度 of 取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害危険箇所, 避難場所, 避難経路の確認の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域, 企業, 学校等の参加による「一斉防災教室※」の実施 (5/16~6/6) →参加約 58 万人</li> <li>・テレビ・ラジオ等を通じた定期的な広報の実施</li> <li>・防災教室, 広報誌, 広報番組, イベント等において, 「広島県防災 Web」やポータルサイト「広島県『みんなで減災』はじめの一步」などの利用促進</li> <li>・「みんなで減災」推進大使による, イベント等(「フラワーフェスティバル」「福山ばら祭り」「マツダスタジアムイベント」「ひろしまバスまつり」「空の日まつり」他)における呼びかけ</li> <li>・県内企業訪問による従業員及びその家族による実施働きかけ (69 社)</li> <li>・事業者向けセミナーの実施 (福山 2/21・39 社, 広島 2/23・61 社)</li> <li>・事業者向けの「防災ポケットカード」を希望者に送付</li> <li>・県医師会並びに県歯科医師会及び市町と連携し, 病院や診療所等にハザードマップの掲示。公共交通機関や小売店舗等に, 協力を要請し, ハザードマップの掲示</li> </ul> </li> <li>○ 土砂災害警戒区域等の指定に係る基礎調査の実施等               <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度は, 193 小学校区の基礎調査を着手・実施した。</li> <li>・土砂災害警戒区域等の指定地域住民への説明会の開催については, 115 小学校区実施した。</li> <li>・県ホームページで基礎調査の結果や指定区域を随時更新して周知を行い, 関連する年度別基礎調査計画及び基礎調査範囲や説明会開催予定もホームページに掲載している。</li> </ul> </li> </ul>	<p>継続して取り組む ※ (5/14~6/6 の間実施中)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院や診療所等の他, 公共交通機関や小売店舗等にも, 協力を要請し, ハザードマップの掲示</li> <li>○ 土砂災害警戒区域等の指定に係る取組               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続して取り組むこととし, 基礎調査については, 177 小学校区を着手・実施予定。指定地域住民への説明会は, 119 小学校区で実施予定</li> <li>・ 継続して取り組む</li> </ul> </li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気象情報・防災情報の意味の周知や, 防災情報メールへの登録促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害から命を守るために欠かせない情報 (重要情報) を整理した上で, これを一括配信できるよう, 県防災情報メールを改修</li> <li>・ 県防災情報メールへの登録方法をより分かりやすくし, メール登録によるメリット等を紹介するランディングページをホームページ内に作成</li> <li>・ ヤフーと連携し, 「ヤフー・防災速報(スマートフォン)」による「重要情報」の配信も開始</li> <li>・ メールを登録された方にカーブ観戦チケットのプレゼントキャンペーンを実施 (3/27~4/20)</li> </ul> </li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">〔メール登録者数 : 2,581〕 〔チケット応募者数 : 2,912〕</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施〔再掲〕</li> <li>・ イベント（「フラワーフェスティバル」「福山ばら祭り」「マツダスタジアムイベント」「ひろしまバスまつり」「空の日まつり」）等における、「みんなで減災」推進大使による周知</li> <li>・ 広報誌、広報番組、防災イベント等を通じた防災情報メールの登録の呼びかけ</li> <li>・ 県内企業を訪問し、従業員及びその家族による登録を働きかけ</li> <li>・ 事業者向けに「ポケットカード」を作成し、希望者に送付〔再掲〕</li> </ul>	<p>） 継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災情報メールの登録促進を図るため、インターネット広告を活用するなど、新たな登録促進策を検討・実施</li> </ul>
<p>行動する</p>	<p>○ 災害の状況に応じた適切な避難行動等の周知や防災訓練等への参加の呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポータルサイト「はじめの一步」を改修し、手間や労力のかからない防災教室・訓練メニューを掲載（ネット上で短時間で効果的に学べる教材を作成）</li> <li>・ 報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施〔再掲〕</li> <li>・ イベント（「フラワーフェスティバル」「福山ばら祭り」「マツダスタジアムイベント」「ひろしまバスまつり」「空の日まつり」）等における、「みんなで減災」推進大使による周知〔再掲〕</li> <li>・ 一斉防災教室の実施〔再掲〕</li> <li>・ 県内企業を訪問し、従業員及びその家族に訓練等への参加を働きかけ〔再掲〕</li> <li>・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉地震防災訓練※」の実施（11/1）→参加約46万人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ より効果的な防災教室教材として機能するよう、改良を加える。</li> </ul> <p>） 継続して取り組む ※は11/5を予定</p>
<p>学 ぶ</p>	<p>○ 女性が参画する団体・サークル等を対象にした、防災活動の女性リーダーの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「女性のための防災プログラムトレーナー講座」を開催（10/4 福山、11/27 三次、11/28 広島）。同講座受講者計115名のうち、42名の方がそれぞれの活動の場で防災教室を実施（講座受講者が実施した防災教室の参加者合計467名 H30.3末現在）</li> </ul> <p>○ ポータルサイト「はじめの一步」を改修し、手間や労力のかからない防災教室・訓練メニューを掲載（ネット上で短時間で効果的に学べる教材を作成）〔再掲〕</p> <p>○ 報道機関と連携した定期的な広報により、防災教室や防災訓練等への参加促進、災害から命を守る行動などについて周知〔再掲〕</p> <p>○ 集客力のあるイベント（「フラワーフェスティバル」「福山ばら祭り」「マツダスタジアムイベント」「ひろしまバスまつり」「空の日まつり」）等において、「みんなで減災」推進大使による防災教室等を実施〔再掲〕</p>	<p>継続して取り組むとともに、高齢者サロンなどコミュニティでの防災活動の担い手の掘り起しに新たに取り組む</p> <p>より効果的な防災教室教材として機能するよう、改良を加える。</p> <p>） 継続して取り組む</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業者向けセミナーにおいて、企業や事業所における防災に関する取組事例などの学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業者向けセミナー（福山 2/21・39 社、広島 2/23・61 社）〔再掲〕</li> </ul> </li> <li>○ 県内企業への訪問の一環として、訪問先からの要請に基づき、社内研修等のための講師を派遣</li> <li>○ 周辺の災害リスクや、連絡先などが記入でき、収集すべき正確な情報や、避難行動の種類などを簡潔に記載した事業者向けの「ポケットカード」を作成し、希望者に配布〔再掲〕</li> <li>○ 「ひろしま土砂災害を知る・学ぶ・伝える」ポータルサイトなどにより、地域の災害伝承の取組を支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の砂防情報アーカイブ」において、地域の住民などから、過去の土砂災害の写真等 515 点の提供を受けた。また、これらの写真を活用し、地域と連携した「土砂災害伝承パネル展」を 21 会場で開催した。また、上記に関連して、地域自らが行う災害伝承の取組を支援するため、「災害の記憶つなぐ人の輪づくり～土砂災害 啓発・伝承支援制度～」を創設</li> </ul> </li> <li>○ 県内の小中学校に職員を派遣し、「砂防出前講座」を実施（小中学校 36 校）</li> <li>○ 昭和 42 年呉市豪雨災害から 50 年の本年、「平成 29 年度土砂災害防止 県民の集い」を、呉市において開催(5/30) ※参加人数約 400 名</li> </ul>	<p>継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「平成 30 年度土砂災害防止 県民の集い」を、広島市安佐南区において開催予定(5/30)</li> </ul>
<p>備える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 報道機関と連携した定期的な広報により、非常持出品の備えなどについて周知</li> <li>○ 「みんなで減災」備えるフェアを開催し、ホームセンターやショッピングセンターなどの生活に身近な場所において、非常持出品の特設コーナーを設置するなど、非常持出品として備えるべきものや、ローリングストックといった備え方の工夫などを周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8/26～9/10 35 社、2,165 店舗参加</li> <li>・ 3/3～3/18 37 社、2,235 店舗参加</li> </ul>           上記各期間中、「みんなで減災」推進大使による「親子で学べる防災教室」などを開催         </li> <li>○ 引越業者等との連携による、引越時における家具等転倒防止の周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県と包括連携協定を結んでいるヤマト運輸の協力を得て、引越時に転入者に対する家具転倒防止板の設置サービスを実施</li> </ul> </li> </ul>	<p>継続して取り組む</p> <p>継続して取り組むとともに、家電量販店、大手家具販売店等との連携の構築に新たに取り組む</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主防災組織を支える人材を育成するため、市町の防災リーダー養成支援や、全県的な人材である自主防災アドバイザーのスキルアップ研修を実施</li> <li>○ 自主防災アドバイザー派遣による、自主防災組織の設立と活性化の支援</li> </ul>	} 継続して取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主防災組織の、他団体との連携による組織の活性化及び活性化の維持</li> </ul>
--	--	------------	--

<課題等>

- 継続して、土砂災害警戒区域等の指定に係る基礎調査の実施、説明会を開催する必要がある。
- 継続して土砂災害に関する知識の普及・啓発に努める必要がある。
- 地域の語り部の育成、新たに創設した支援制度のPR等を行う必要がある。
- 防災教育を広く普及させるために、「砂防出前講座」の担い手を育成する必要がある。